

平成29年6月23日

水産試験場

環境調査結果のお知らせ

平成29年6月23日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温23～26℃、塩分26～33、溶存酸素量1～11mg/lでした。
透明度は1～2mで、有害種のカレニア・ミキモイ、シャットネラ属、ケラチウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温22.7～26.1℃、塩分25.8～33.2でした。
前回調査時(H29.6.20)と比較して、水温は表層から2m層で0.7～0.8℃下降しており、5m層から底層で0.2～0.3℃上昇していました。塩分は全層で0.1～5.1低下していました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量0.6～11.3mg/lでした。
溶存酸素量は全層で0.7～6.0mg/l減少しており、中学校前、目ノクソ、光松及び大鹿では10m層及び底層で貧酸素状態になっていました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は1.2～1.8mでした。
検鏡の結果、魚類に有害なカレニア・ミキモイが最高で13,700cells/ml、シャットネラ属が最高で10cells/ml、ケラチウム属が最高で11cells/ml確認されました。
中学前及び光松でカレニア・ミキモイが漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。また、湾内各地で広範囲に着色しております。降雨等により、更に増殖する恐れがあります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H29.6.20)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	26.1	26.0	25.3	25.4	25.0	25.5	26.3	▲ 0.8
2m	25.3	25.2	24.7	24.7	24.6	24.9	25.6	▲ 0.7
5m	24.5	24.3	24.3	24.3	24.4	24.3	24.0	0.3
10m	23.6	23.8	23.5	23.2	—	23.5	23.2	0.3
B-1m	23.1	22.8	22.7	22.7	24.0	22.7	22.5	0.2

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H29.6.20)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	27.1	27.8	29.8	25.8	30.6	27.8	32.9	▲ 5.1
2m	31.7	31.0	31.6	31.6	31.9	31.4	33.1	▲ 1.7
5m	32.7	32.9	32.8	32.7	32.7	32.8	33.3	▲ 0.5
10m	33.1	33.2	33.2	33.2	—	33.2	33.3	▲ 0.1
B-1m	33.1	33.2	33.2	33.2	33.0	33.2	33.3	▲ 0.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H29.6.20)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.2	10.2	9.4	11.3	10.8	10.3	11.8	▲ 1.5
2m	8.4	8.6	6.8	6.4	8.2	7.3	13.3	▲ 6.0
5m	5.5	4.6	4.7	4.6	6.0	4.6	7.1	▲ 2.5
10m	2.5	3.1	2.5	1.6	—	2.4	3.1	▲ 0.7
B-1m	0.6	0.6	0.6	0.6	4.0	0.6	1.3	▲ 0.7

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.4	15.9	16.7	16.4	8.9
透明度	1.4	1.8	1.3	1.2	1.6
前回(6/20)	3.4	3.6	0.7	2.6	2.6

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ヘテロシグ マ・アカシオ	ケラチウム属	アレキサン ドリウム属	珪藻類
中学校前	0m	3	0	0	0	0	1,800
	2m	3	4	0	8	0	1,500
	3m*	2440	0	0	5	0	700
	5m	412	0	0	0	0	0